

保育の全体的な計画

保育理念(事業運営方針)	子どもたち一人ひとりが「愛されている自分」を感じる保育をめざす。	
保育方針	①のびのびとした子どもに育てる。⑤物を大切にし、創造性の豊かな子どもに育てる。 ②自分のことばかりでなく、友だちのことも愛する子ども ③子どもの個性を尊重し、その子の持っている素質と可能性を正しく伸ばしていく。 ④人の気持ちを尊重し、国際性を身につけ、心身ともに成長した子どもにも育てる。	
保育目標	1. 喜んで生きる子ども　2. 自分と友だちを愛する子ども　3. 心を動かす子ども	

○児童福祉法・保育所保育指針に基づき、年間指導計画を作成。子どもひとりひとりの発達を踏まえて、養護と教育が一體となった保育を開展する。	☆特色ある保育 ☆主な行事 ○入園式、卒園式、お別れ会、運動会、夏まつり、親子遠足、お誕生日会、お店屋さんごっこ、園外保育	
---	---	--

○児童福祉法として、児童・保護者・地域に対する最も利益を考慮する。 ○児童を個人として尊重する。 ○保護者もまた個人として尊重する。 ○職員の生活権を保障する。	●遊びや身近な生活経験を通して、仲間との関係を育てる。 ●基本的生活習慣の自立に向かう。 ●身体全体を使つて活動する中で、自律の方向に向かう。 ●自分の要求や思いを、言葉や行動で表現する。	
---	---	--

☆発達過程 0~5歳児の年齢別6クラス編成。保育所保育指針及び当園の理念・保育方針・保育目標・発達指針に基づき、年間指導計画を作成。子どもひとりひとりの発達を踏まえて、養護と教育が一體となつた保育を開展する。	☆特色ある保育 ☆主な行事 ○入園式、卒園式、お別れ会、運動会、夏まつり、親子遠足、お誕生日会、お店屋さんごっこ、園外保育	
---	---	--

年齢別保育目標	社会的責任	人権尊重	説明責任	苦情処理・解決			保育時間
				3歳児	4歳児	5歳児	
0歳児	・しつかりした人間関係をつくる。 ・五感覚を育てる。 ・快い生活リズムを獲得して、快・円滑を感じる。(よく食べ、よく眠る)	・一人一人の子どもの状態に応じて、睡眠など適切な休息をとらせ、心身の疲れを癒し、集団生活による緊張を緩和する。	・遊びなど適切な休息をとらせ、心身の疲れを癒し、集団生活による緊張を緩和する。	3歳児	・午睡など適切な休息をとらせ、心身の疲れを癒し、集団生活による緊張を緩和する。	・午睡など適切な休息をとらせ、心身の疲れを癒し、集団生活による緊張を緩和する。	保育短時間 8:30~16:30
1歳児	・安定した人間関係の中で、豊かな経験を通して言葉を満たし、生命の保育と生活の安定を図る。 ・歩行の確立に向けて意欲的に活動する。	・仲間と共に遊びや運動や製作に取り組み、できた臺びを持つ。 ・手足、足を使って動きを十分にやり、しっかりと使いできるようになる。	・仲間同士を警戒し合う中で、目標に向かって自分で自分の力を出し切る。	4歳児	・仲間との絆が十分に育つようになる。	・経験をもとにして、目標に向かって自分で自分の動きができるようになる。	保育標準型 7:00~18:00
2歳児	・友達への開心が十分に育ち、つながりを持つようになる。 ・いろいろと経験した中で、言葉、つながりを持つようになる。	・仲間との絆が快く育つようになる。 ・基本的生活習慣が快く育つようになる。	・仲間同士を警戒し合う中で、目標に向かって自分で自分の力を出し切る。	5歳児	・経験をもとにし、より滑らかになり、細かい手や指の動きができるようになる。	・イメージを豊かに持ち、それを表現する。(言葉、絵など)	延長保育 18:00~19:00
保育の内容							
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
養護	生命の維持	情緒の安定	健 康	人間関係	環境	教 育	
0歳児	・安心できる人との生活のリズムを重視して、食欲、睡眠、排泄などの保育と生活の安定を図る。	・一人一人の子どもの状態に応じて、スキンシップを十分に与えるなど感情の安定を図る。	・保育的で安全な環境をつくって、安心できる保育士との関係の下で、食事、排泄などの活動を自分でしようとする気持ちが芽生える。	・安心できる人との接觸に応じて、心身ともに快適な状態をつくり、安心できる保育士との関係の下で、食事、排泄などの活動を通して、自分で自分の欲求や甘えなどの依存欲を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。	・安心できる人との接觸に応じて、心身ともに快適な状態をつくり、安心できる保育士との関係の下で、食事、排泄などの活動をして、自分で自分の欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。	・安心できる人との接觸に応じて、心身ともに快適な状態をつくり、安心できる保育士との関係の下で、食事、排泄などの活動をして、自分で自分の欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。	
1歳児	・五感覚を育てる。	・五感覚を育てる。	・保育的で安全な環境をつくって、安心できる保育士との関係の下で、食事、排泄などを自分で楽しむ。	・安心できる人との接觸に応じて、心身ともに快適な状態をつくり、安心できる保育士との関係の下で、食事、排泄などを自分で楽しむ。	・安心できる人との接觸に応じて、心身ともに快適な状態をつくり、安心できる保育士との関係の下で、食事、排泄などを自分で楽しむ。	・安心できる人との接觸に応じて、心身ともに快適な状態をつくり、安心できる保育士との関係の下で、食事、排泄などを自分で楽しむ。	
2歳児	・豊かな経験を通して言葉を満たし、生命の保育と生活の安定を図る。	・一人一人の子どもの甘えなどの依存欲を満たし、情緒の安定を図る。	・保育的で安全な環境をつくって、安心できる保育士との関係の下で、食事、排泄などを自分で楽しむ。	・安心できる人との接觸に応じて、心身ともに快適な状態をつくり、安心できる保育士との関係の下で、食事、排泄などを自分で楽しむ。	・安心できる人との接觸に応じて、心身ともに快適な状態をつくり、安心できる保育士との関係の下で、食事、排泄などを自分で楽しむ。	・安心できる人との接觸に応じて、心身ともに快適な状態をつくり、安心できる保育士との関係の下で、食事、排泄などを自分で楽しむ。	
3歳児	・五感覚を育てる。	・五感覚を育てる。	・保育的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようになる。	・安心できる人との接觸に応じて、心身ともに快適な状態をつくり、安心できる保育士との関係の下で、食事、排泄などを自分で楽しむ。	・安心できる人との接觸に応じて、心身ともに快適な状態をつくり、安心できる保育士との関係の下で、食事、排泄などを自分で楽しむ。	・安心できる人との接觸に応じて、心身ともに快適な状態をつくり、安心できる保育士との関係の下で、食事、排泄などを自分で楽しむ。	
4歳児	・歩行の確立に向けて意欲的に活動する。	・歩行の確立に向けて意欲的に活動する。	・身の回りのものや観察したり、小動物や植物を見たり、触ったりして遊ぶ。	・身の回りのものや観察したり、小動物や植物を見たり、触ったりして遊ぶ。	・身の回りのものや観察したり、小動物や植物を見たり、触ったりして遊ぶ。	・身の回りのものや観察したり、小動物や植物を見たり、触ったりして遊ぶ。	
5歳児	・友達への開心が十分に育つようになる。	・いろいろと経験した中で、言葉、つながりを持つようになる。	・身の回りのものや観察したり、小動物や植物を見たり、触ったりして遊ぶ。	・身の回りのものや観察したり、小動物や植物を見たり、触ったりして遊ぶ。	・身の回りのものや観察したり、小動物や植物を見たり、触ったりして遊ぶ。	・身の回りのものや観察したり、小動物や植物を見たり、触ったりして遊ぶ。	